

# 令和4年度第4回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

## 1 日 時

令和4年7月28日（木） 午後1時29分から午後3時20分

## 2 場 所

青梅市役所議会棟3階 第2委員会室

## 3 出席者

[出席委員]

菊池一夫委員	川合純委員	原島正之委員
手塚幸子委員	宇津木順一委員	小峰三枝子委員
加藤弘吉委員	田中俊美委員	

[出席青梅市職員]

伊藤企画部長以下8名

## 4 議事概要

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 青梅市行財政改革推進プラン【令和5年度～令和9年度】（仮称）に向けた提言に対する意見交換
- (3) その他

次回委員会は、令和4年8月29日（月）午後1時30分から、青梅市役所3階教育委員会会議室にて開催予定。

## 5 主な質疑・意見等

○青梅市行財政改革推進プラン【令和5年度～令和9年度】（仮称）に向けた提言に対する意見交換

《進め方について》

4月から6月にかけて、第1回委員会から第3回委員会までの3回の委員会では出された提言意見を次期行革プランにおける視点、取組区分ごとに集約して作成した資料について、内容の確認を行うとともに、提言文案に対しての委員間での意見交換を行う。

《提言文案の内容確認について》

### 【視点1 デジタル社会に対応した行政サービスの推進】

#### （1）デジタル化の推進による行政運営の効率化

##### ●デジタル化における情報セキュリティの強化

[委員長] サイバーテロが非常に増えていて、より気を付けなければならないので、項目を追加した。また、電子メールでデータのやり取りをする際には、PPAP対策を講じることについて、提言文案に追記したほうが良い。

#### （2）市民ニーズを踏まえた行政サービスの推進

##### ●誰もがわかりやすい窓口と誰にでも伝わる情報発信への改善

[宇津木委員] 具体的に、わかりやすい窓口とはどういう窓口なのか。

[手塚委員] 目的が達成されるまで誰かが最後まで対応するコンシェルジュサービスと、もう1つは、ひとつの窓口に行けば全ての手続きが済むワンストップサービス、このどちらかだと思う。

[川合委員] キーワードが入っていた方が提言としてわかりやすいと思うので、例示として両方入れたほうが良いと思う。

[委員長] コンシェルジュサービスやワンストップ窓口を例示として追加したい。

##### ●市民生活に寄り添ったパートナーシップ体制の構築

[川合委員] 表現が抽象的過ぎるので、提言として受け止めてもらえないのではないか。

例えば「パートナーシップ体制の構築」など、何をしたらよいのかわからないので、例示があるとよい。

[委員長] 詳しく書いてよいのであれば、もう少し原文を勘案したいが。

[事務局（財政課長）] 分かりづらい、抽象的な部分については例示を入れて対応したいので、ご指摘いただきたい。

##### ●電子申請の取組強化による利便性の向上

[委員長] 提言文案の上から3行目、「電子化できない」は「電子化できていない」に変更していただきたい。また、デジタル化完結に向けたスケジュールを明確にするということも追加したい。

### (3) 開かれた市政の推進

- 行政課題の解決に向けた課題と目標の明確化と市民等との協議による問題解決に向けた体制づくり

[川合委員] 「市民等に影響が及ぶもの」というのは具体的にはどういうことか。何でも影響が及ぶのではないか。例えば、というものがあつた方が良いのではないか。

[委員長] 例示を追加することは、作成上、問題は無いので例示を追加した方が良い。

- 各種情報のデジタル化による情報公開の推進

[川合委員] 「各種情報のデジタル化を進めるとともに、デジタル情報による公開を推進するほか、市民が求める情報が容易に閲覧できるような環境整備」とはどのようなことを指すのか。市民が求める情報とは、具体的に何の情報なのか。「今、これができていないからやってもらいたい」ということが入っていないとわからないのではないか。

[加藤委員] 情報公開請求の閲覧手続きには、1か月くらい時間を要する。データが公開されていれば、探す手間がなくなるし、検索もしやすい。

[川合委員] 情報公開請求制度の話と、公表されているデジタル情報の話が混在している。デジタル情報として公開されていれば、すぐに取り出せるといった関係性をもう少しここに補足説明として加えればよいのではないか。また、公開されているデジタル情報が少ないのではないか、という意見でもあると思う。公開されている情報は、迅速かつ簡単に手に入るように制度構築をしていくことが必要だという意見にもなると思う。

[委員長] 意見として、出して頂きたい。

### (4) 市民の視点に立った情報の発信

- デジタルを活用した防災情報の発信と高齢者の見守り

[原島委員] 防災情報の発信については、防災無線のほかにスマートフォンにも通知されるので、非常に便利だが、すでに実施していることは提言に記載しないのか。

[小峰委員] 14番の提言文案に記載されている。

[委員長] 言葉を表現を変えた方が良ければ、意見として出して頂きたい。。

## 【視点2 時代の変化に適応した組織と人材育成】

### （1）多様な人材の登用・育成

#### ●移住・定住を促進するための市役所内部からのムーブメント

[手塚委員] 「若者」というくくりで出した意見なので、対象を絞ってはまずいいのか。高齢者の転入は多く、30～40代は出て行ってしまふことが多いので、そのための意見として出したのだが。

[川合委員] 若者にクローズアップして、若年層がどんどん転入するような魅力的な市を目指すべきだという表現にした方が良いと思う。

[手塚委員] 若い人たちが住んでくれるように、市職員の若い人がチームを組んで取り組んでほしいという意見を出した。

[委員長] 意見として、出して頂きたい。

#### ●人材育成のための職員研修制度の充実

[原島委員] 多様な人材の活用として、国や都への派遣・出向はあるのか。また、民間企業への派遣はあるのか。

[事務局（職員課長）] 現在は国への派遣はなく、都への派遣は行っている。また、民間企業への派遣はしていない。

[川合委員] 市職員を民間企業へ積極的に派遣している市もある。

[原島委員] 民間企業の残業に対する考え方は全然違う。仕事する上での習慣の違いを習得してもらったほうが良いと思う。

### （2）持続可能な組織・機構への見直し

#### ●マイスター職員の育成と窓口業務で得た情報をもとにした市民サービスの改善サイクルの取組

[川合委員] マイスター職員は良いことだと思うが、専門的とはどの部署のことか。例示がないとわかりにくい。

[委員長] 窓口業務の部分については、6番の提言文案に移してもよいのではないか。

[原島委員] 「可能な限り内製化を図り」とあるが、内製化とは、市の職員がやることだと思うが、わかりにくい。窓口はほとんど外部委託なのか。

[事務局（財政課長）] 市民課は窓口を委託しているが、その他の窓口は職員で対応している。

[宇津木委員] 「内製化」というのは、内部で人を育てるということか。

[委員長] 市民と接点のあるところは、できるだけ委託しないということ。

[原島委員] 内製化という表現は、物のような感じがする。人に対して使うと気になる。

#### ●人口減少予測にもとづく定員管理等の推進

[加藤委員] 「人口減少が続く中」という表現は、人口減少を何とか抑えたい、ということを考えている中で、人口減少を前提としている表現に見える。青梅市としてはなんと

か人口を維持したい、プラスにしたいという考え方が根本にあるはずなので、人口減少だから職員を減らすというのは、行財政改革ではないのではないかと。

[委員長] 人口減少が前提というわけではなく、人口が減った場合のことを考えておかなければいけないということではないか。

[川合委員] 定住促進の項目と併せて書くとよいのではないかと。定住促進のための取組をするが、一方、人口減少に対しては適正な定数管理をするなど。

[手塚委員] 組み合わせるのであれば、デジタルの推進による業務の効率化と合わせるのはいかがでしょうか。

[事務局（財政課長）] 提言では、同じような意見を「再掲」として載せることもできると思う。

[委員長] もう少し、分かりやすい表現にする必要があるのでは、意見を出して頂きたい。

### 【視点3 将来を見据えた堅実な財政運営の推進】

#### （1）自主財源の安定確保に向けた取組の推進

##### ●自主財源の確保に向けた「特区制度」の活用と企業誘致の推進

[委員長] 例を増やしてよいか。国は2025年までに40自治体を自動運転特区として指定したい動きがある。自動運転特区はレベル4の実験が始まっており、青梅市は市域が広いので、例示として追加をしたい。

[原島委員] 提言文案の下から4行目、「国産化回帰」は「国内化回帰」ではないか。

[委員長] 提言文案の下から9行目、「予想」ではなく「予測」ではないか。

##### ●山間部を活用した新たな経済活動の創出

[委員長] J-クレジット制度は、世界各国が脱炭素を進める中で、物価高によって化石燃料を伸ばそうという話もあり、逆行してしまうのではないかと。

[手塚委員] 別の観点としては、63%の森林面積を上手に利用できていない現状があるので、他の例を示したい。

[委員長] 森林環境譲与税の活用方法も検討していく必要があると思う。

[手塚委員] 教育や産業の場として、他市の方に使ってもらうために、受け入れの体制を整える必要があるのでは、その点をもう少し詳しく意見として提出したい。

[委員長] 森林環境譲与税の活用方法について、意見として出していただきたい。

##### ●青梅市の地形を活かしたゾーニングによる「遊び」と「居住」エリアの位置づけ

[原島委員] 「遊び」という表現を「自然との共生」などに変えたらどうか。また、「市内東部地域についてコンパクトシティ化を進め」とあるが、具体的な地域名を入れられないと思うが、成木地区や小曾木地区などのコンパクトシティ化を進めたほうが良いのではないかと。地域としては、自然との共生地域を進める地域と都市化を進める地域とで分かれると思う。

[加藤委員] 国家戦略特区は、目玉ではあるが、実質的に経済的にプラスとなる基盤になるのか疑問に思っている。また、旧市街地の活性化について、意見として出ていないからだと思うが、財政面などいろいろなところに影響が出るので、提言文案に記載が無いので、市全体の都市計画としてバランスをとるべきではないか。また、農業特区で企業の株式会社化を推進するとあるが、企業化という例示は適切ではないと思う。

[委員長] 意見として提出してほしい。国家戦略特区は実証実験をしている段階なので、やってみて損はないと思う。

[川合委員] 特区の取得を目的とするのではなく、市の特性を活かした取組を進めるという中で、その例示として特区を検討したらどうかという構成にすればよいのではないか。

#### ●明星大学青梅校の活用方針の検討

[宇津木委員] 明星大学については、郷土博物館、教育センター、学習センターを置いて、市内の子供達がそこで勉強や授業を行うという仕組みを作ってはどうか。

[委員長] 提言意見の中でも色々な活用方法を出していただいている部分なので、意見があれば提出していただきたい。

### (2) 歳出抑制に向けた取組の推進

#### ●青梅市立総合病院に対する財政支援の要請

[手塚委員] 先日、西多摩首長によるSDGsのパネルディスカッションに出席した。その際、公立病院の財政運営が苦しい中で、西多摩地域の公立病院が診療科の分担をしていくことができれば、という話があった。青梅市立総合病院だけを専門的にするのは難しいので、ある程度の住み分けと効率化を図り、ハイレベルな医療をしていくことを検討してもよいのではないか。

[委員長] 行財政改革の範疇ではないのではないのかもしれない。

#### ●既存保育事業のあり方の見直し

[原島委員] 青梅市の保育園は民間だが、大半の自治体は半官半民で運営している。定員の確保は大きな問題であり、表現を考える必要はあるが、実情を考えれば統廃合を考えなければならない時期に来ていると思う。

[手塚委員] 待機児童解消のために保育園が多く開設されたが、一方で、母親が子どもを産まないといったズレが生じているという報道も見た。

[原島委員] 青梅市から保育園へ多額の補助金が支出されているが、補助金を減らすのは大きな課題だと思う。

[宇津木委員] 保育園に関する市の予算には、国や都から交付される補助金も含まれていると思われるので、市が単独で支出している金額がどの程度なのかわからない。また、保育園は民間なので、統廃合については、市からは言えないのでは。

## 【その他】

[原島委員] 提言文案の表現については「～する必要がある」と「～すべきである」という表現に分かれている。「べき」という表現は強すぎると思うので、「～する必要がある」という表現の方が良いと思うが。

[委員長] 最終的な提言の表現は、「～です」や「～ます」の表現となる予定である。

[川合委員] 視点3の名称については、「将来を見据えた堅実な財政運営の推進」となっているが、提言意見の中で、前向きな取組がたくさん出ているので、「堅実な」という表現ではないのではないかと。

[事務局（財政課長）] 視点や取組区分の名称については、広範囲に頂いた提言意見を踏まえて、見直しを検討したい。

[加藤委員] 兵庫県のある市では、政策として子育て世帯への支援を実施し、人口が増加している。人口減少ではなく人口増加のために、子育て世帯や若年層への支援を手厚くして、青梅に住みたくなる気持ちにさせる政策が必要なのではないかと。

[委員長] どの提言意見に入れるのがよいか。

[川合委員] 子育て支援に特化したデジタル地域通貨などがあるので、例えば、36番の提言文案「補助金制度の徹底した見直し」に入れてみたらどうか。

[委員長] 当てはまる場所に意見として出していただきたい。

[宇津木委員] 青梅市は、市役所に大勢の市民が来ており、市民と密接した非常に良いことだと思っている。また、市民センターには、図書館、会議室、体育館があり、地域住民が非常によく利用している施設なので、大切にしていきたい。図書館利用者は多く、地域密着で良い役割を果たしていると思う。青梅市の良い面だと思うので、そういった内容も提言のどこかに入れたい。

[委員長] 例えば、15番の提言意見に市民センターに関する内容が記載されているので、意見として出していただきたい。

### 《視点および取組区分について》

[原島委員] 視点3の取組区分(3)「財政指標の健全化」は、財政の健全化ということか。

「指標」を取り除いてよいのではないかと。

[事務局（財政課長）] 「財政指標の健全化」から「指標」を取り除くこととしたい。

[加藤委員] 取組区分が減っているのはどういうことか。

[事務局（財政課長）] 委員からの提言意見を頂いていない取組区分については、提言内容に盛り込めないため削除した。

[川合委員] 視点3の例示の中に「戦略的な」を入れたい。

[事務局（財政課長）] 例示へ追加したい。

**【次回委員会の進め方】**

[事務局（財政課長）] 本日の委員会において、ご確認いただいた提言文案の原文に対する加筆・訂正・削除の意見については、8月12日（金）までにご提出いただき、その後、いただいた意見を取りまとめた上で、次回の委員会の1週間前程度に、各委員へお送りする。委員会当日においては、その資料をもとに、再度、内容確認を行う。

また、次期行革プランにおける視点および取組区分については、提言意見の内容を踏まえ、一部を見直すこととし、提言文案に対する意見と合わせて、名称の変更案をご提出いただき、意見の多かった名称を変更案として、次回の委員会で協議を行う。

以 上